

### 1. 景色から何が分かるかな

左手の山のつらなり、いくつ重なっているのだろう。

右手にどんな山がみえるかな。吉祥山と遠くの山。

平地はどのように広がっているのかな。

五葉湖はどのような地形のところにあるのだろう。

### 2. 山の色を見よう

緑がいくつ見分けられるかな。色の違いは何で決まるのだろうか。

ヒノキやスギのこい緑、落葉樹の芽出しの色はさまざま。

### 3. 蛤岩(はまぐりいわ)のひみつ

山腹にどっしりすわる岩、丸っこくぷっくりふくれたようすは「はまぐり」と言われればそうとも見える。さてこの岩は？

下のほうは角ばった石のまざったかたまりみたいだが、上のほうは薄い板をいっぱい重ねたようなつくりをしている。全体が茶色っぽくみえるが、新しい面は緑っぽい色をしている。

これは火山灰や火山の噴火で吹きとばされた岩石が積み重なってできた「凝灰岩」のようだ。何億年も前、地下深いところから噴き上がったマグマによる火山活動がこのあたりであったということになる。その証拠が蛤岩だ。

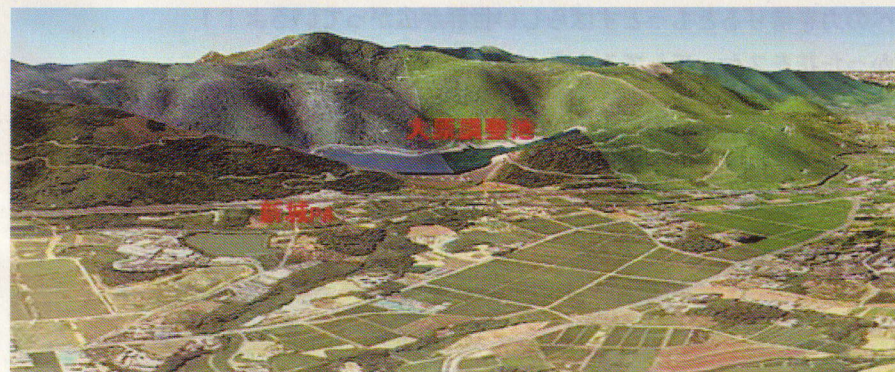


## 2004年 地域自然観察会 第1回

2004年4月4日 日曜日

# 大原調整池の自然観察

## 春いっぱい五葉湖畔



吉祥山上空からの大原調整池(カシミール 3Dと国土地理院地形図で作成)

### ☆大原調整池はどうしてできたのか？

愛知県の東南部の豊橋市を中心とする地域と湖西市を含めた恒常的に発生する水不足を解消するために、昭和43年に豊川用水は開通しました。この「五葉湖」は社会情勢の変化に対応するため、安定した用水供給が出来る様、国と愛知県が共同して建設しました。この湖のある場所にかけて、川谷池、中の池、恵の池という3つのため池があり、地域の田畑を潤していました。なかでも、中の池は中村さんと言う医師が故郷のため昭和5年から6年かけて地域住民と一致協力して築造したものです。この湖の背後は昔から地域にとって重要な水源涵養林、地域景観林でしたが、マツクイムシの被害により、松枯れが進み、その対応策として、四季おりおりの変化が楽しめる雑木林的な森林整備(生活環境保全整備、森林水環境総合整備)を進めてきたようです。今日、皆さんと歩く五葉湖畔はそんな林です。

運営主催 特定非営利活動法人 東三河自然観察会  
後援 新城市教育委員会

## 春の草花を楽しもう！

春、草木が一斉に芽吹き、たくさんの花が咲く季節。

サクラのように目立つ花、スズメノカタビラのように目立たない花。

でも、良く見るとみんな個性派！

それぞれがそれなりに存在を主張しています。そんな草花に目を向けてみましょう。

ほら！そこに！あそこにも！草花はいっぱい！！

ルーペの力を借りるともっとすばらしい世界が広がっているよ！！

見つけた花をスケッチしてみよう！



- 上左：タチツボスミレ
- 上右：ヒメオドリコソウ
- 中左：キジムシロ
- 中右：キランソウ
- 下左：ミツバツチグサ
- 下中：ヒメウズ
- 下右：ネコノメソウ



## シダの世界は千差万別

一口に「シダ」と言ってもたくさんの種類があるよ！

形では、丸い葉、三角形の葉、細長い葉、細かく別れた葉、どこまでも続く葉、色だって千差万別決して緑一色ではないよ！同じ緑でもたくさんの種類がある。

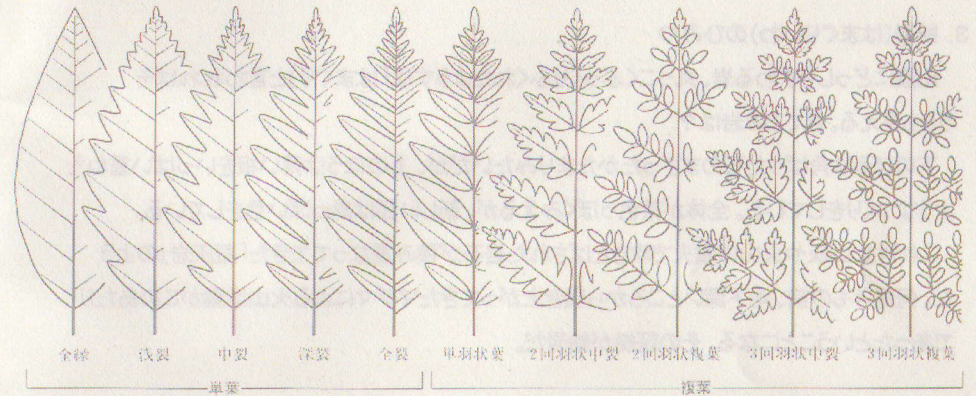
自分の目でその違いを確かめてみよう！胞子の付き方にも注目！！

目の前のシダの形はどれかな？色は？

芽ののびる様子も楽しいよ！！

君は何種類見分けられたかな？

図5 羽状分岐の切れ込み



左：ベニシダ  
と胞子嚢

右：イノデ  
と胞子嚢と葉  
の展開の様子

